

いろいろな曲の気分を味わおう（5時間扱い）

1. 題材のねらい

拍子や調の違いを感じ取って聴いたり，歌い方を工夫したりすることができるようにする。
イ短調の特徴を生かして，簡単な旋律づくりができるようにする。

2. 教材について

（1）気球よ ぼくらのゆめのせて（平井多美子作詞 飯沼信義作曲）

《学習指導要領との関連》A(2)イ，A(3)ア

大空に美しく浮かぶ熱気球に子どもらしい夢を託して歌った曲である。8分の6拍子という独特の味わいをもつリズムが，この曲想のもとになっており，歌詞の内容と一体となってゆったりとしたイメージを感じさせている。子どもたちは，この曲で初めて6拍子の曲と出会う。6拍子では，1小節を2拍で取っており，それがこの曲のゆったりとしたイメージを醸し出している。歌唱表現でも1，2段目は斉唱，3段目はオブリガードが入り，4段目の後半で二部合唱といろいろな形態を味わえるので，歌い方の工夫をして表情豊かに歌えるようにしていきたい。

（2）秋にさよなら（高木あきこ作詞 加賀清孝作曲）

《学習指導要領との関連》A(2)イ，B(1)ア

子どもたちが初めて出会うイ短調の曲である。冒頭の1小節目で，ソ#が出てきており，すぐに短調の曲の気分をつかみやすい曲である。3拍子のリズムにのって，始めの2小節は♩がなめらかに続き，その後の2小節では♩が続く構成になっている。歌詞は，秋の風景を描いており，♩の続く旋律には，擬音語や擬態語の歌詞がついているので，その部分の歌い方を工夫して，秋の情景が伝わるようにしたい。また，歌うことによっても短調の曲の気分を感じ取ることができるようにしたい。

（3）ふしをつくろう（イ短調のモチーフを使って）

《学習指導要領との関連》A(1)イ，A(4)ア

5年生になって初めてのふしづくりである。これまで，子どもたちは低音や和音の伴奏づくりに取り組んできた。ここでは，8小節の曲の後半4小節をつくるようにする。前半は，モチーフとして提示し，学習してきたイ短調の特徴であるソ#の音や終止音がラであることなどを生かして，自由に旋律づくりに取り組ませたい。

5. 題材の評価規準

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価 規準	拍子や調の違いに関心をもって聴こうとしたり，意欲的に表現活動に取り組もうとしたりしている。	8分の6拍子の拍感や短調の曲の気分を感じ取って，表現の仕方を工夫している。	曲想を生かして歌ったり，簡単なふしづくりをしたりしている。	楽曲の気分や特徴を感じ取って聴いている。
学習 形態 にお け	6拍子の曲の気分をつかんで，歌おうとしている。 【Aと判断するキーワード】 音楽に合わせてリズムを取りながらフレーズを意識して	8分の6拍子の拍感や短調の曲の気分を生かして，歌い方の工夫をしている。 【Aと判断するキーワード】 拍や曲の気分合った身体表現も取り入れて	音程に気を付け，主旋律を歌っている。 【Aと判断するキーワード】 主旋律の移動を感じ取って 豊かな音量で 曲の感じを生かし	短調の曲の気分を感じ取って聴く。 【Aと判断するキーワード】 短音階と長音階の終止音の違いに気付く 積極的的確な発表

3	<p>たりして，曲の感じをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞を読んでどんなことを感じたか発表する。 ・範唱を聴いたり，合わせて歌ったりする。 ・「秋にさよなら」の曲の気分を感じ取る。 ・長調の曲と聴き比べて，短調の曲の気分を感じ取る。 <p>より豊かな表現を工夫して歌詞唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音程に気を付けて主旋律を歌う。 ・曲の感じをより表現するための工夫について意見を出し合う。 ・出た意見をまとめて，工夫しながら歌詞唱する。 	イ - エ - ア -	A(2)イ B(1)ア A(2)イ				発表 学習カード
4	<p>【ふしづくりをしよう】 教科書のモチーフのふしの感じをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチーフのふしを階名視唱する。 ・モチーフのふしの感じをつかむ。 ・楽器で演奏する。 <p>続きのふしをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イ短調の終止音がラであることをつかむ。 ・1~2人で自由につくる。 ・できた人やグループから，簡単に発表する。 	ウ - イ -	A(1)イ A(4)ア				歌唱聴取 行動観察 創作活動
5	<p>自分たちでつくったふしを練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくったふしに合う楽器を選んで練習する。 ・テンポや強弱なども工夫して練習する。 <p>発表会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イ短調の感じをつかんで，続きのふしを演奏する。 ・短調の曲の感じをつかんでいたかどうか互いのつくったふしを聴き合う。 ・自分が考えたとおりにできたかどうか振り返る。 	ウ - エ -	A(4)ア B(1)ア				行動観察 創作活動 学習カード